

# 総務部 マネジメント方針

総務部では市長との政策協議のもと、次のとおり基本方針・組織目標・行動目標を定め  
ました。この方針に基づき目標の達成に向け着実に取り組みます。

令和4年4月1日

総務部長  
齊藤 正直



## 【基本方針】

北陸新幹線福井開業やアフターコロナへの対応など、本市を取り巻く環境が大きく変化  
していく中、様々な行政課題に対し、的確に対応できる人材の育成に取り組むとともに、  
更なる行財政改革を推進し、未来につなげる持続可能な行政運営を進めます。

また、令和6年春の北陸新幹線福井開業に向けて、首都圏等へのプロモーション活動を  
強化し、本市の認知度向上やイメージアップを図り、新幹線開業効果を最大限に高めてい  
きます。

さらに、地域を活性化し経済を持続可能なものとしていくため、連携中枢都市圏ビジョ  
ンに掲げる取組を推進し、圏域全体での持続的な発展を目指します。

加えて、関係人口の創出・拡大や人材還流の促進のほか、地域の特色を活かした住民主  
体のまちづくり及び女性が活躍できる社会を推進し、誰もが尊重され、持続可能で活気あ  
ふれるまちを目指します。

## 【組織目標】

- I. 「質の高い行政経営」の実現に向け、行財政改革を推進するとともに、社会の変化に対応した行政サービスの見直しに取り組みます
  - II. 強靱な地域づくりの推進に向け、「福井市国土強靱化地域計画」を改訂します
  - III. 人口減少・少子高齢化社会にあっても活力ある社会経済を維持するため、連携中枢都市圏ビジョンに掲げる取組を進めます
  - IV. 地域の自主性を発揮し活性化を図るため、地方分権の推進に取り組みます
  - V. 一人ひとりの人権が尊重される地域社会の実現に向け、各種啓発事業を実施します
  - VI. 市民に分かりやすい情報発信を行うとともに、「ふくい」の魅力を積極的に発信します
  - VII. 東京事務所を拠点に、市政に関する情報収集、首都圏での本市の観光や食、住みよさ等の情報発信による観光誘客やU・Iターン等を積極的に推進します
- <未来づくり推進局担当>
- VIII. (I) 人口減少に立ち向かうため、福井への新しい人の流れの創出・拡大に取り組みます
  - IX. (II) 地域の特色を活かした住民主体のまちづくり活動を支援し、活力ある地域社会づくりを進めます
  - X. (III) 北陸新幹線福井開業に向けて、「ふくい」の認知度向上やイメージアップに取り組みます
  - XI. (IV) 女性が輝きいきいきと暮らせる社会の実現及び若者の結婚への意識向上に向けた取組を進めます

## 【行動目標】

組織目標 I 「質の高い行政経営」の実現に向け、行財政改革を推進するとともに、社会の変化に対応した行政サービスの見直しに取り組みます

行動目標	SDGs 指標
<p><b>1 行財政改革の更なる推進</b> 行財政改革の更なる推進のため、「福井市行財政改革指針（令和4～8年度）」に掲げる取組の適切な進行管理を行います。</p> <div data-bbox="247 555 1259 680" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"><p>「福井市行財政改革指針（令和4～8年度）」に掲げた取組の達成度（※） ： 90%以上</p></div> <p>※ 全36の取組のうち、目標を達成した取組の割合 (目標達成の評価指標である「快晴」又は「晴れ」とした取組数/全取組数)</p> <div data-bbox="272 920 751 1305"></div> <p style="text-align: center;">申請書作成支援システム</p> <div data-bbox="842 846 1241 1391"></div> <p style="text-align: center;">AIチャットボット</p>	<p>17 パートナシップで目標を達成しよう</p> 



行動目標	SDGs 指標
<p><b>4 ⑨ 文書決裁の電子化の推進 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">DX</span></b></p> <p>文書事務の電子決裁の推進、押印省略の推進、電子化された文書の保存基準を見直すこと等により、文書事務の電子化、効率化及びペーパーレス化を促し、行政事務の更なる効率化を図ります。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>公文書の電子決裁比率(※) : 5.8% (3年度) → 12.0% (4年度)</p> </div> <p>※ 公文書の電子決裁比率  (電子決裁及び電子供覧の件数/文書管理システムを利用した決裁及び供覧の件数)  ただし、電子決裁が不適なもの(大量、大判などにより添付資料のデータ化が難しいもの、決裁権者にシステム利用ができない者があるもの等)を除く。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>文書管理システムによる電子決裁事務</p>	<div style="margin-bottom: 10px;"> <p><b>9</b> 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  </div> <div> <p><b>11</b> 住み続けられるまちづくりを</p>  </div>

組織目標Ⅱ 強靱な地域づくりの推進に向け、「福井市国土強靱化地域計画」を改訂します

行動目標

SDGs 指標

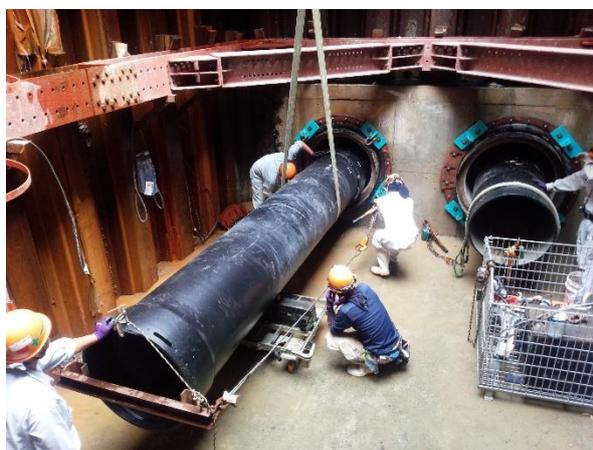
5 新 福井市国土強靱化地域計画の改訂

いかなる災害が起こっても機能不全に陥らない、強靱な地域づくりを推進するため、福井市国土強靱化地域計画を改訂します。

福井市国土強靱化地域計画の改訂



トンネルの点検



水道管の布設



**組織目標Ⅲ 人口減少・少子高齢化社会にあっても活力ある社会経済を維持するため、連携中  
 枢都市圏ビジョンに掲げる取組を進めます**

**行動目標**

**SDGs 指標**

**6 連携中枢都市圏の推進**

連携中枢都市圏ビジョン（※）に掲げる取組を推進するため、有識者で構成する連携中枢都市圏ビジョン懇談会の意見等を踏まえながら適切な進捗管理を行うとともに、圏域の更なる発展につなげるため、ビジョンの改訂を行います。

また、第2期連携中枢都市圏ビジョン（令和6年度～）策定に向け、素案を取りまとめます。



取組の進捗を踏まえたふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョンの改訂  
 第2期連携中枢都市圏ビジョン素案の策定

※ 連携中枢都市圏ビジョン

連携中枢都市圏の中長期的な将来像や具体的取組、成果指標などを定めるもの



連携中枢都市圏ビジョン懇談会の様子



各市町と連携した取組例（越前ふくいマルシェ）

組織目標Ⅳ 地域の自主性を発揮し活性化を図るため、地方分権の推進に取り組みます

行動目標

SDGs 指標

7 地方分権の推進

個性を活かし自立したまちづくりを進めるため、権限移譲や規制緩和について国に提案を行う提案募集制度を活用し、積極的に地方分権の推進を図ります。



提案募集方式による提案 : 4件



提案実現までの流れ（内閣府HPより） 本市提案の事例）

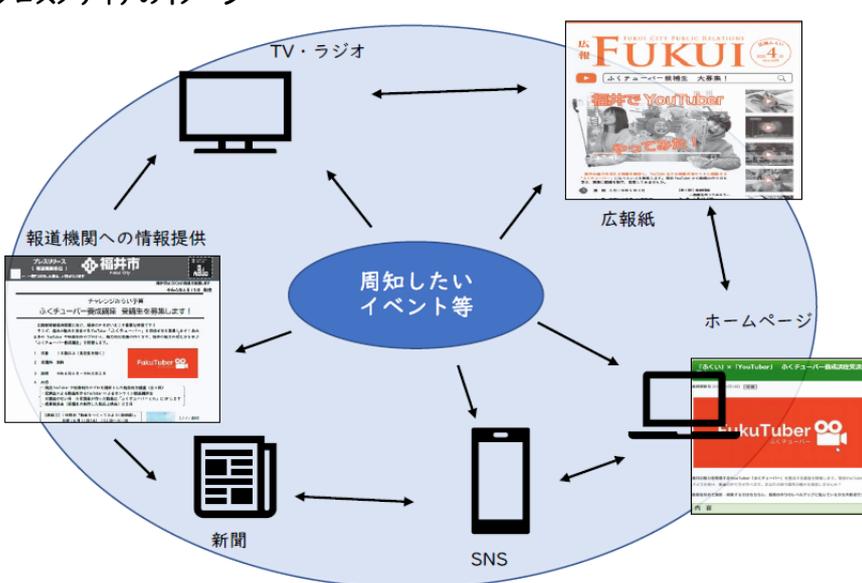


国の提案募集検討専門部会の様子

組織目標Ⅴ 一人ひとりの人権が尊重される地域社会の実現に向け、各種啓発事業を実施します

行動目標	SDGs 指標
<p><b>8 人権尊重意識の啓発</b> 一人ひとりの多様性や、人権が尊重され、誰もが活躍できる地域社会の実現に向け、広報紙やホームページによる啓発に加え、人権擁護委員による相談、関係所属や国、県、人権擁護委員等と連携したイベント等の実施により、人権尊重意識の涵養や知識の向上を図ります。</p> <p>①9 「人権教育・啓発推進計画」に基づき実施した本市主催事業の実施件数 ： 16 件（3 年度）→ 20 件（4 年度）</p> <div data-bbox="236 772 699 1137"></div> <p data-bbox="352 1137 517 1171">人権の花運動</p> <div data-bbox="715 772 1276 1137"></div> <p data-bbox="863 1137 1134 1171">多様な性に関する講座</p> <div data-bbox="279 1211 635 1771"></div> <p data-bbox="352 1771 571 1805">人権図書コーナー</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>  <p>10 人や国の不平等をなくそう</p> 

**組織目標VI 市民に分かりやすい情報発信を行うとともに、「ふくい」の魅力を積極的に発信します**

行動目標	SDGs 指標
<p><b>9 分かりやすい伝わる情報の発信</b></p> <p>広報紙・テレビ・ラジオ・ホームページ・SNSなどの多様な広報媒体を複合的に活用し、市政の主要施策や地域・市民活動に関する情報、「ふくい」の魅力をより広く効果的に発信していきます。</p> <p>広報課職員のみならず、全職員の「広報力」を向上させることで、市民ニーズに即した的確で分かりやすい情報発信に努めるとともに、報道機関への情報提供にも積極的に取り組みます。</p> <p>また、北陸新幹線福井開業を見据え、市民を巻き込んだ効果的な情報発信に取り組むなど、「ふくい」の魅力を市内外に向けて広く発信していきます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>クロスメディア（※1）件数（広報媒体間の連動件数）： 531件（3年度）→ 1,800件（4年度）（※2）</p> </div> <p>※1 クロスメディア 一つの情報を複数の広報媒体を使って発信することで、媒体間の相乗効果を高め、相互に補完し合いながら、広く情報を提供する手段（広報紙、テレビ、ラジオ、ホームページ、各種SNS、報道機関への情報提供等）</p> <p>※2 件数について 令和3年度までは「広報ふくい」（QRコード掲載したもの）、ホームページ、SNS等間の連動件数としていた（3年度実績531件）。しかし、4年度からは、「広報ふくい」、報道機関への情報提供（報道されたものに限る）、ホームページ、SNS等間の連動件数に変更したため、大幅に増加している。</p> <p><b>クロスメディアのイメージ</b></p> 	<p><b>11</b> 住み続けられるまちづくりを</p> 



組織目標Ⅷ（Ⅰ） 人口減少に立ち向かうため、福井への新しい人の流れの創出・拡大に取り組みます

行動目標	SDGs 指標
<p><b>1 1 人口の対流創出と人材還流の促進</b></p> <p>都市部の人材等が様々な形で本市と関係性を築き、深められる機会を作っていくことで、人口の対流を生み出し、将来的な移住定住にもつながる関係人口の創出・拡大を図ります。</p> <p>また、全国トップクラスを誇る本市の住みよさや充実した子育て・教育環境などの魅力のPRを強化するとともに、東京圏をはじめ全国からの移住を促進するための移住支援金や、若年女性、子育て世帯等への就職・移住にかかる支援など、人材還流に繋がる取組を推進し、U I ターン者の増加を目指します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>⑮ 15 関係人口創出事業に関わる市外の人の数（※1） ：33人（3年度）→ 40人（4年度）</p> <p>⑮ 16 本市へのU I ターン者数（※2） ：452人（3年度）→ 460人（4年度）</p> </div> <p>※1 関係人口創出事業に関わる市外の人の数 福井とつながる対流拡大事業、二地域活動・二地域居住等促進事業などの関係人口創出に向けた各事業への参加または支援制度の活用を契機として、地域づくりや地域経済の発展などに地域とともに取り組む市外の人の数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井とつながる対流拡大事業：都市部の人材が地元の企業や若手人材とともに、新事業創造に向けた学びや実践活動に取り組むことで、都市部と本市との間を継続的に行き来する関係人口の創出・拡大を図る。</li> <li>・二地域活動・二地域居住等促進事業：本市を離れていても持続的に本市との関わりを深めていく機会を創出し、居住地と本市での二地域活動・居住を促進する。</li> </ul> <p>※2 本市へのU I ターン者数 ふるさと福井移住定住促進機構（福井Uターンセンター）での相談など、市や県の支援制度等を活用して本市にU I ターンした人数</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="188 1579 632 1910" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="687 1579 1131 1910" data-label="Image"> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="256 1919 558 1955" data-label="Caption"> <p>関係人口創出事業の様子</p> </div> <div data-bbox="790 1919 986 1955" data-label="Caption"> <p>移住相談の様子</p> </div> </div>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div data-bbox="1230 421 1366 555" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1230 566 1366 701" data-label="Image"> </div> </div>

行動目標

SDGs 指標

12 ふるさと納税の推進

ふるさと納税制度の本来の趣旨を踏まえ、返礼品の充実を図るなど、本市の魅力的な地場産品を全国に情報発信し、継続的に応援していただける人はもちろん、新たな寄附者を獲得することで、本市のファンの増加を目指します。また、東京事務所等と連携して県外イベントでのPRを行い、ふるさと納税の更なる普及拡大を図ります。併せて、本市ゆかりの企業に企業版ふるさと納税制度を周知し、寄附に繋げていきます。



ふるさと納税寄附者数  
 : 12,058人(3年度) → 14,000人(4年度)

ふるさと納税寄附額  
 : 3億7,520万円(3年度) → 4億5,000万円(4年度)



ふるさと納税パンフレット



返礼品の例

組織目標Ⅸ（Ⅱ） 地域の特色を活かした住民主体のまちづくり活動を支援し、活力ある地域社会づくりを進めます

行動目標

SDGs 指標

1.3 地区ビジョンの実現につながるまちづくり活動の推進

各地区のまちづくり組織が、自ら地域の未来を考え、その実現に向けて取り組むまちづくり活動を支援するとともに、配置した地域担当職員が活動のサポートを行うなど、地域と市の協働によって課題解決や活性化を進めていくことで「持続可能で活気あふれるまち」を目指します。

さらに、地区の「地域未来づくりビジョン」策定に向けた取組を支援するとともに、ふるさと納税を活用したクラウドファンディング（ガバメントクラウドファンディング）を通じた資金調達を支援することで、まちづくり活動を推進していきます。



地域未来づくりビジョン策定地区数：

29 地区（3 年度）→ 33 地区（4 年度）



策定された地区ビジョン



地区ビジョン検討ワークショップの様子

行動目標

SDGs 指標

14 持続可能な地域コミュニティ機能の保持、活性化

災害時の助け合い、子どもの見守りなどの防犯活動、地域の環境美化活動など、安全・安心で住みよいまちづくりの主体である自治会の機能保持や活性化を図るため、未加入世帯に向けた加入啓発を自治会連合会と協働で取り組むとともに、負担軽減、合併（グループ化）の推進などに取り組んでいきます。

また、中山間地域には、地域集落支援員や特定集落支援員を配置し、コミュニティの状況把握を行い、機能保持や活性化の支援により、集落の存続に努めます。



総 18 自治会加入世帯数：78,312 世帯（3 年度）（※）→ 78,400 世帯（4 年度）

※全世帯数：105,638 世帯

# 自治会に加入しましょう！

「支え合う 自治会加入が 第一歩」

令和3年度自治会標語最優秀作品



自治会加入啓発ポスター



組織目標XI (IV) 女性が輝きいきいきと暮らせる社会の実現及び若者の結婚への意識向上に向けた取組を進めます

行動目標	SDGs 指標
<p><b>17 女性が輝きいきいきと暮らせる社会の実現</b></p> <p>女性がいきいきと活躍できる社会の実現のため、企業向けには、WEB 診断システム「Fukurea (フクリエ)」(※1) の活用により、ワーク・ライフ・バランスを推進するとともに、あらゆる分野でリーダー的役割を果たし、活躍できる機会の拡大を目指します。</p> <p>さらには、家庭における男性の家事・育児への参画を促し、女性の負担軽減を図るとともに、市民の男女共同参画意識の向上に努め、地域活動への女性の参画を促していきます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>②0 女性活躍などの取組が可視化できる WEB 診断システム「Fukurea」の導入企業数(累計) : 67社(3年度) → 100社(4年度)</p> <p>②1 市の審議会・委員会等委員に占める女性の割合(※2) : 33.5%(3年度) → 40.0%(4年度)</p> </div> <p>※1 女性活躍やワーク・ライフ・バランスなど、企業が自社の強み弱みを可視化できる本市独自の WEB 診断システム</p> <p>※2 市の審議会・委員会等委員に占める女性の割合 (市の審議会・委員会等委員の女性委員数/総委員数) 令和3年度実績 : 744人/2,220人</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <p>家庭生活充実支援講座の様子</p> </div>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="margin-bottom: 10px;"> <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>  </div> <div> <p>8 働きがいも経済成長も</p>  </div> </div>

## 行動目標

## SDGs 指標

### 18 若者の結婚への意識向上

若者の未婚化・晩婚化に歯止めをかけるため、誠実に結婚を希望する男女を対象に、様々な結婚支援を実施していきます。

ふくい婚活サポートセンター「ふく恋」(※1)と連携し、身だしなみやコミュニケーション等の学びと出会いの場を提供する「婚活スクール」を開校します。

また、本年度新たに、福井での結婚生活や子育てすることの楽しさ・魅力を発信し、若者が結婚に前向きなイメージが持てる意識を醸成します。これらの取組を通じ、男女の結婚意識を高め、出会いから交際、結婚に至るまで一貫した支援を行うことで、より多くの若者の結婚が叶えられるよう後押しします。

結婚意識が明確になり、さらに結婚への意欲が高まった割合(※2)  
: 90.0%以上

※1 マッチングシステムを活用した出会いの場の提供や結婚に関する情報発信など  
県と全市町で構成する公的な結婚支援センター

※2 結婚意識が明確になり、さらに結婚への意欲が高まった割合  
(参加者アンケートで結婚意識・意欲が高まったと回答した人数/回答者数)  
令和3年度実績: 195人/212人≒92.0%



オンライン婚活イベントの様子

